

今日の課題：わたしたちの校区では、水害に備えて、どのような備えがされているのだろう。

長良川の様子

長良川の様子 資料1

普段の長良川と大雨の時の長良川のちがいは？



長良川の様子 資料1

普段の長良川



長良川の様子 資料1

大雨の時の長良川




・どのようなちがいがありますか？


岐阜市の取り組み①

水害への取り組み(岐阜市の例) 資料2

岐阜市役所の取り組み



岐阜市では災害に備えて食料などを備蓄しています。岐阜小学校にも防災倉庫があります。倉庫の中には約800人分の食糧などを保管しています。また陸揚や種門を管理し、水防団や消防団、自主防災隊と一緒に防災訓練なども行っています。




さらに、ハザードマップを配って、水害の危険や避難所の場所を伝えています。水害が発生しそうな時には、避難に関する情報(高齢者等避難・避難指示など)を発表します。また、必要があれば被害の状況を知るためのパトロールを行います。

・岐阜市は水害に備えて、どのような取り組みをしていますか？

岐阜市の取り組み②

水害への取り組み(岐阜市の例) 資料2

平成30年7月豪雨の時の岐阜市役所の活動



岐阜市では台風の接近にあわせて、長良川の水位が17mまで上昇したため、7月5日に全華水防団に待機要請を出しました。また、7月7日に自主防災隊に避難所の開設を要請しました。さらには避難に関する情報(避難勧告・避難指示など)を発表し、市内をパトロールするなど、市民の安全を守るための活動を実施しました。

岐阜市役所では防災無線や広報車、防災メールなどで、避難の呼びかけをします。皆さんも早めの避難心がけましょう。

・岐阜市では水害が発生しそうな時にどのような活動をするのでしょうか？

まとめ

- ・市は、災害の発生に備えて、食糧や毛布などを備蓄している。
- ・水防団や地域の人たちと協力して、防災訓練を行っている。

今日の課題：消防団（水防団）、自主防災隊の人たちは、水害に備えて、どのような取り組みを行っているのだろう。

水防倉庫

水防倉庫 資料3

水害に備えて、土のうや防水シートなどが様々なものが備えてあります



・水防倉庫の中にあるものを使って、土のうなどをつくっている人たちは誰でしょう？

土のうとは？

土のうとは 資料3

土のうってなに？
 土のうとは、壁の形に土や砂を詰め、いくつも積み上げることで、水をはき止めるなどの防衛工法といわれます。効果は高くなります。大雨で水があふれそうときに活用します。



土のうの使い方

土のうの使い方 資料3

土のうを使った水防工法
 水害が発生しそうなおときには、土のうをたくさん使って、堤防から水があふれたりするのを防ぎます。またシートの固定などにも利用します。



水防団・自主防災隊とは

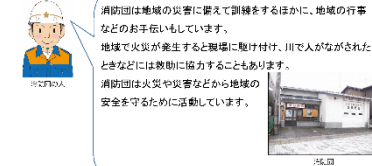
・どのような人たち？

水防団・自主防災隊の活動

地域の安全を守る人たち 資料4

消防団の取り組み

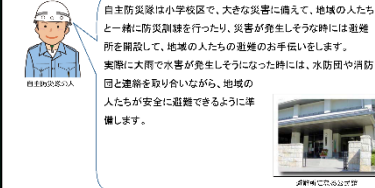
消防団は地域の災害に備えて訓練をするほか、地域の行事などのお手伝いもしています。地震で火災が発生すると現場に駆け付け、川で人がながされたときなどには救助に協力することもあります。消防団は火災や災害などから地域の安全を守るために活動しています。



地域の安全を守る人たち 資料4

自主防災隊の取り組み

自主防災隊は小学校区で、大きな災害に備えて、地域の人たちと一緒に防災訓練を行ったり、災害が発生しそうなお時には避難所を開設して、地域の人たちの避難のお手伝いをします。実際に大雨で水害が発生しそうになった時には、水防団や消防団と連携を取り合いながら、地域の人たちが安全に避難できるように準備します。



まとめ

- ・水防団の人たちは、自分達のまちを自分達で守りたいという思いを持って、地域のために陸間の点検や、訓練などを行っている。
- ・水害が起こりそうなおときには、樋門の操作や水防工法を行って、まちを守ってくれている。
- ・水防団は水害に備えて待機していて、水害が発生したら、すぐに駆けつけてくれる。
- ・自主防災隊の人達は、災害が起こった時には、避難所の運営や、怪我をした人の救護などを行う。
- ・災害から地域の人を守るために、普段から訓練を行っている。